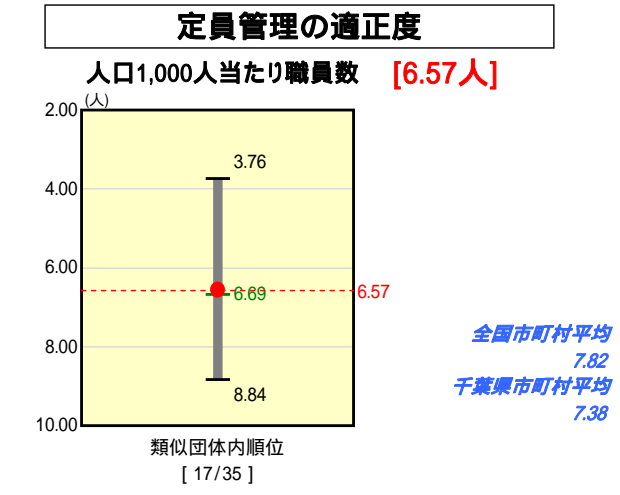
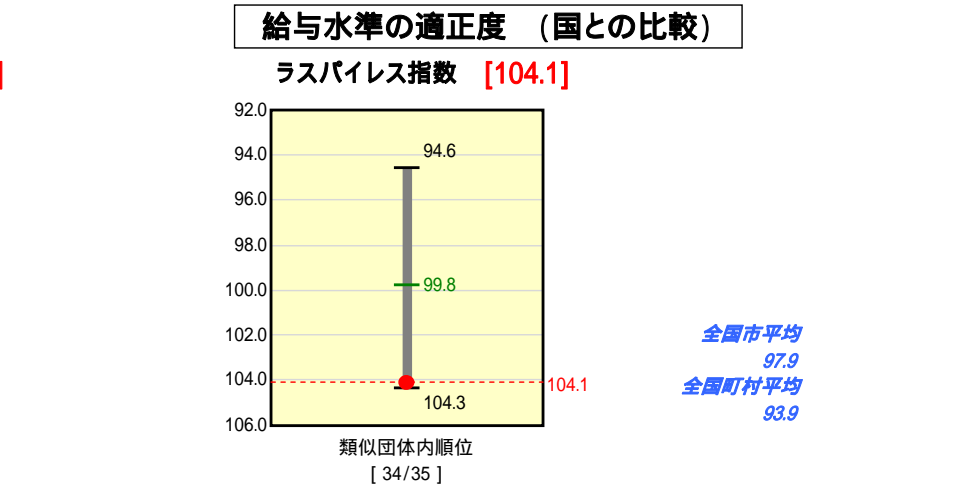
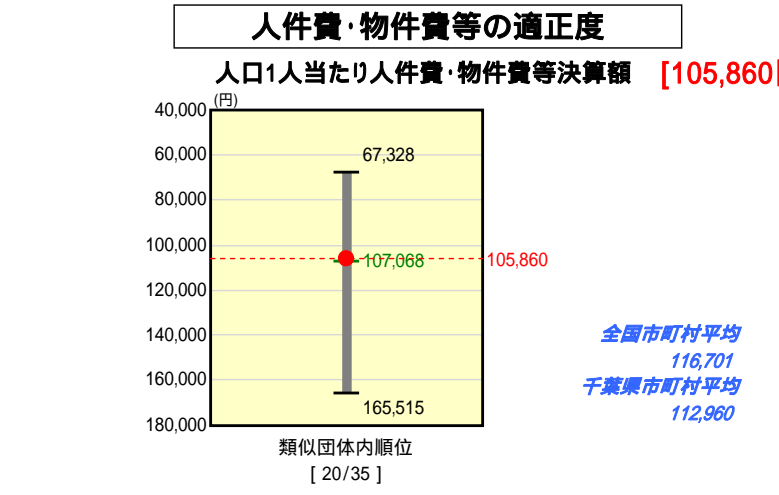
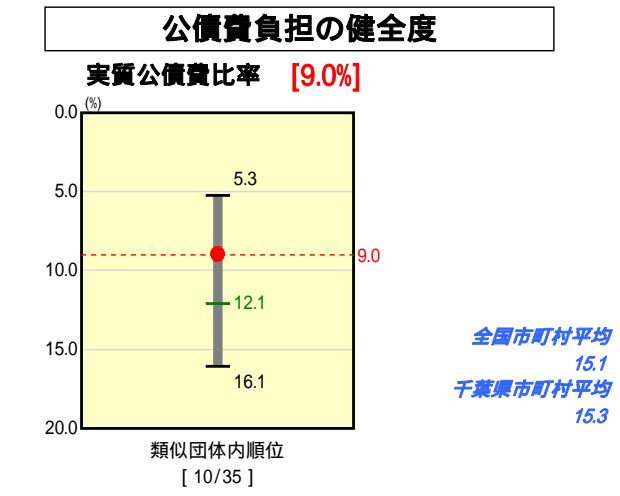
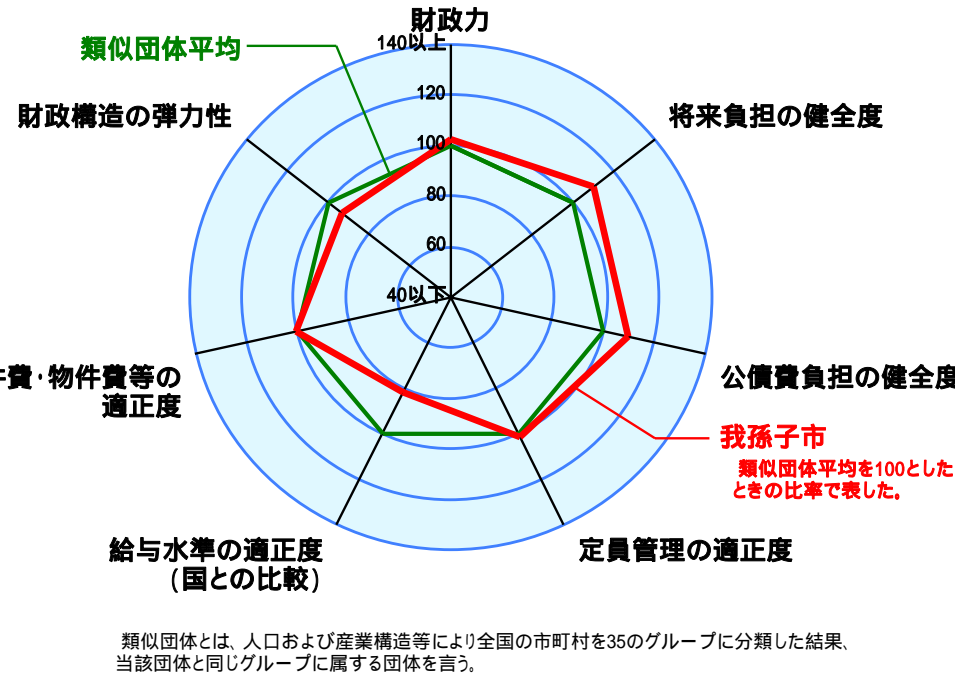
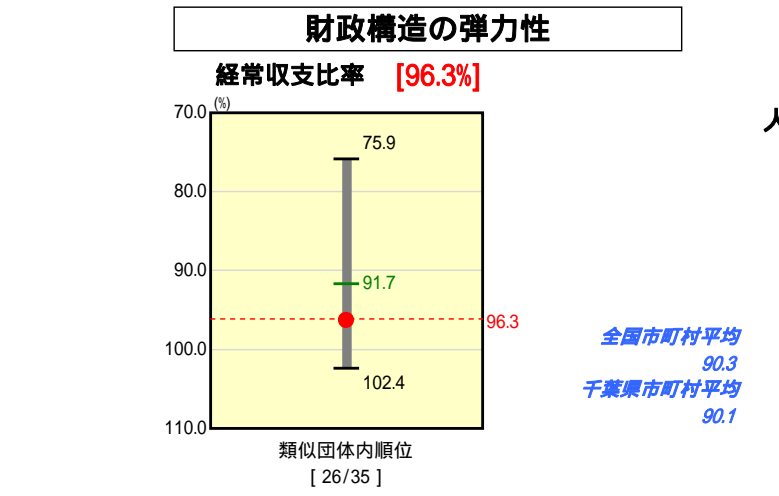
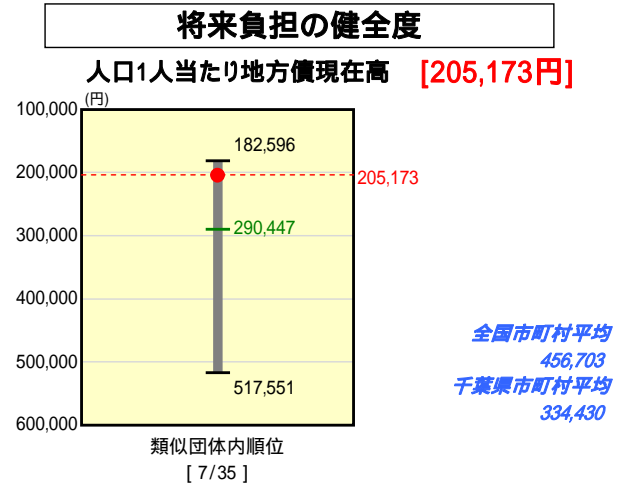
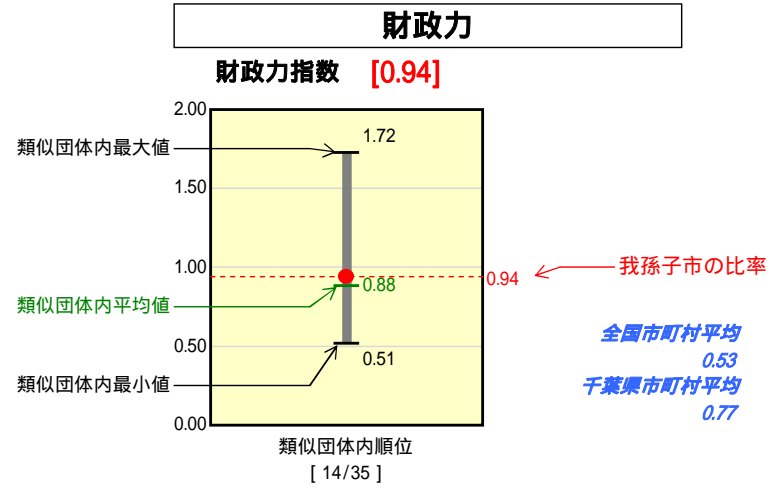


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 我孫子市

人口	133,541人	(H19.3.31現在)
面積	43.19	km ²
歳入総額	31,379,597	千円
歳出総額	30,056,232	千円
実質収支	1,133,514	千円



分析欄

【財政力：財政力指数】
他の類似団体より市税収入の割合が高いため、0.94と平均を上回っている。今後、団塊の世代の退職に伴い市民税の減収が見込まれるため、若い世代の定住化政策を進め長期的に安定した税収の確保やその他財源の確保に努め、現在の水準を維持していく。

【財政構造の弾力性：経常収支比率】
臨時財政対策債の減額や制度改正に伴う扶助費の増加などにより96.3%と年々悪化を続けている。今後、長期目標を85%におき、人件費の削減など、経常的経費の節減に努めていく。

【人件費・物件費等の適正度：人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
人件費では地域手当等が、物件費においては委託料等が他団体に比べ低い水準にあることから、105,860円と類似団体平均を下回っている。今後も人件費の削減や物件費の節減に努めていく。

【給与水準の適正度(国との比較)：ラスパイレス指数】
昭和40年代から昭和50年代当初の人口急増時に大量採用した職員の学歴別経験年数階層の内、特に高卒の階層が高い割合となっており、市のラスパイレス指数が高い要因となっている。今後については、当該階層の職員の大量退職が見込まれ、指数が下がることが予想されるが、併せて初任給基準の引き下げも含めて給与水準の適正化を図っていく。

【将来負担の健全度：人口1人当たり地方債現在高】
公債費が将来、住民の重い負担とならないようにしてきたため、類似団体平均より低い205,173円となっている。今後も臨時財政対策債や借換債などを除く通常の地方債の発行を、毎年平均して15億円以下に抑えていくことにより、引き続き低い水準を維持していく。

【公債費負担の健全度：実質公債費比率】
適切な事業の選択・実施により、類似団体平均より低い9.0%となっている。今後も、住民のニーズを的確に把握した事業の選択を行い、財政規模に見合った計画的な起債を行うことにより引き続き低い水準を維持していく。

【定員管理の適正度：人口1,000人当たり職員数】
人口1,000人当たり職員数は、職員数がピークを迎えた平成9年以降、定員管理適正化計画を策定し削減を進めてきた結果全国平均を下回っている。今後も職員の大量退職にあわせ、事業の見直しや委託化の推進などにより削減を加速化していく。